

柴田 英里 議員 無会派



問 パブリシティの強化を

答 市内外に広く情報を発信

問 本市のパブリシティの認識と取組は。

答 (総務部長) パブリシティは、市が報道機関に情報を提供し、ニュースや記事として市民に伝える広報活動。これにより、幅広い情報伝達、速報性、客観性、そして市が直接費用をかけずに情報発信できるという利点がある。市は、報道機関が独自に情報を取捨選択し、コメントを付けて報道することを理解し、発表資料の作成や発表時期を工夫。窓口は総務部人事秘書課が担当し、関係各課と連携。

問 具体的な事例は。

答 市の記者会見とプレスリリースがある。今年度の主な実績として、弥富市 PR ラッピングトラック出発式や、漆作家の武藤氏の表敬訪問に関する情報提供が新聞社やテレビ局に取り上げられた。

問 今年度事業の近鉄弥富駅通路壁面パネル展示事業のスケジュールは。

答 (市民生活部長) 9月末までに工事業者を決定し、令和8年2月中に工事を完了、3月3日に完成披露を行う予定。



▲近鉄弥富駅

問 令和8年3月3日とする理由は。

答 本市が令和8年度に市制施行20周年を迎えること、江戸時代から続く金魚を飾るひな祭りの風習にちなみ「金魚の日」とされる3月3日が最もふさわしい。

問 駅構内の展示場所は。

答 改札正面の窓周辺に展示。

問 展示内容は。

答 窓部分には金魚が泳ぐデザインのフィルム、柱部分には歴史民俗資料館所蔵の「金魚と遊ぶ美人画」をデザインした絵を展示する予定。

問 市制施行20周年の啓発は。

答 (市長) 庁舎に横断幕や懸垂幕の掲示、のぼり旗の活用、公用車やきんちゃんバス、デマンド車両等にマグネットシート貼り付け。WEB等を有効活用し、市内外への幅広い情報発信。



▲ラッピングトラック